

# 平成30年度第2回瑞浪市教育振興基本計画推進委員会議事概要

日時：平成30年11月28日(水) 18:30～20:04

場所：瑞浪市役所 2階大会議室

出席者：(委員長)厚見正紀 (副委員長)伊藤加代子 (委員)藤井雅明、有賀秀雄、伊藤竜昭、可知正己 (事務局)(作業部会長)奥村勝彦事務局長、工藤仁士事務局次長、酒井浩二教育総務課長、大山雅喜社会教育課長、工藤嘉高スポーツ文化課長、鈴木友恵教育総務課長補佐、安藤みちる教育総務課主事

## 1 議事 (進行：委員長)

(1)「後期計画(案)」に対する第1回委員会におけるご意見と教育委員会の考え方について …P1～7、別冊(後期計画(案))

### 【基本目標1】

委員：「未然防止、早期発見、早期対応、早期解決」の4点を統一することであったが、P29の上から3行目は修正が漏れている。

事務局：修正する。

委員：コミュニティースクールについての対応はどのようなか。

事務局：基本目標5で説明する。

### 【基本目標2】

委員：P42、「生涯楽習」との記載があるが、「学」との表記誤りではないか。

事務局：楽しく学習するという意味で「楽」としている。造語である。

委員長：P42の赤字部分は、具体的にはどのような修正を行ったのか。

事務局：具体的な手法を追記した。

### 【基本目標3】

委員：P55、施策4について、スポーツ少年団については取り上げられているが、体育協会に関する記述がないという指摘であったかと思うが、修正後の主な取組について、変更がないように思う。連携についてどのようにとらえているか。

事務局：指導者の育成については、市が講座開催などの直接的な事業を行うことは考えていない。各団体に対する情報共有、情報提供で連携していくことを意図している。

委員：「後期計画策定時の現状・課題」と施策との関連性がわからない。現状・課題に「団の存続措置について検討する必要があります。」とあれば、検討し、施策に反映させるべきではないか。

委員：団の存続させるための施策が見えてこない。

事務局：現状・課題には、前期5年間を振り返っての課題を記載した。団の指導者を増

やすことは重要だが、今のところ市として可能な支援は、指導者情報を提供することぐらいだと考えている。

委員：子どもの数が減っている中で、団員を増やすことや全ての団を存続させることは無理なのではないか。社会教育が今後進めていかなければならない「地域学校協働活動」のように、地域の人との協力を得ることを考えるのも一案ではないだろうか。幅広いスタンスで考えていただく余地はあるだろうか。

委員：当初策定時は「今まで以上に連携を強化することが必要」とあったが、後期策定時には連携についての記述がない。当初の課題とのつながりが感じられない。

事務局：前期 5 年間を終えての振り返り等を書いた。

委員長：今回削除された【施策の目標】の「児童生徒がスポーツを行う機会や場を確保します。」は削除しなくてもよいのではないかな。

事務局：P51 に同様の施策があり、重複しているため削除したとの説明であった。

委員長：全く同じでも加えておくことはできないか。施策 4 が弱いように感じる。

委員：連携をどのように図るのかは悩みどころだ。独立した団体同士の連携というと、つながりを持たせる場をどのように設けるのかを考えることが一般的なように感じる。市としてはできないというが、かつてスポーツ少年団で指導を受けていた人が、後にスポーツ少年団の指導者になるという場合もある。こういった循環を「つながり」と捉えるのであれば、連携とも言えるかもしれない。連携の形をはっきりさせると良いように思う。

事務局：本施策では、各団体同士の連携というより、個々の団体と市との連携をイメージしている。

部会長：「後期計画策定時の現状・課題」中、「団の存続措置について検討する必要があります」とあるが、委員のご意見のとおり増加の見込みは少ない。また種目の流行り、廃りもある。市として団の存続措置について本当に検討する必要があるのか、維持していくための施策を行う必要があるのか、作業部会で再考の上、修正してはどうか。

委員：20 年程前に中学校区ごとに 1 つクラブを作ろうという動きがあったが、あまり進んでいないように思う。それとスポーツ少年団の現状には重なりがある。自分の校区では希望するチームがない子どもに、体育協会などの力を借りながら活動の場を確保していくという視点での連携ならあり得るのではないかな。

委員：スポーツ少年団というと小学生が所属するもので、中学生だと部活動に入るのではないかな。

事務局：中学生でもスポーツ少年団に登録は可能である。スポーツ少年団は県で登録を受ける団体で、人が集まればスポーツ少年団として登録申請することもできる。

委員：スポーツ少年団の現状がよく把握できていないが、どのようかな。

事務局：スポーツ少年団に登録しているのは 19 団体程度である。部活動にない種目も

含め、多様な種目団体がある。子どもが集まり、登録申請を行えばスポーツ少年団として活動できる。市有施設の利用料が減免される場合もある。

委員：学校の部活動とは別のものか。

事務局：そうである。

委員長：連携が難しいということであれば、「各団体の育成」としてはどうか。

事務局：本来なら市が行うべき業務をその団体にやっていただいているということで補助金を交付している。補助金の交付団体をさらに「育成」ということでは、補助金交付の意図が損なわれる。市ができるのは情報提供程度と考える。

事務局長：「現状・課題」中、「団の存続措置について検討する必要があります。」を削除してはどうか。

委員長：「現状・課題」もしくは施策を教育委員会において修正していただいてはどうか。

委員：P55、「現状・課題」の「(廃団、創設各 2 団あり)」という部分は削除してはどうか。

委員：前回、「主な取組」の「①身近な場所でスポーツに接する機会や場を確保します。」にある「身近な場所」とは何かと尋ねたところ、施策 2 と重複するということで①そのものが削除されてしまった。例えば、「身近な場所」を削除し、「確保します」を「提供します」に修正するなどして、復活させてはいかがか。

委員長：施策 4 については、委員の意見を参考に教育委員会で再度検討の上、修正をしていただくこと、また修正内容については、教育委員会に一任するという事によるか。

委員：異議なし。

#### 【基本目標 4】

委員：P56、協働の相手としてみずなみかたりべの会のみが名前が載っているが、中山道ボランティアについては、記載がないがよろしいか。また、P59 には歴史案内ボランティア等の育成とあるが、これもかたりべの会を意図しているのか。

事務局：教育委員会では、かたりべの会に文化財の紹介等を依頼している。中山道ボランティアは商工課が担当しているため、教育プランにはかたりべの会だけを取り上げている。

部会長：本プランでは、文化財保護を施策として取り上げているため、かたりべの会だけを載せることとした。

#### 【基本目標 5】

委員：コミュニティースクールに関する施策等を取り上げていただき、ありがたい。今後は実際に作っていくことが、行政にとって大切であるし、市民にとっては協力しあっていくことが大切である。用語解説について、「コミュニティースクール(学校運営協議会制度)」とし、解説部分から「学校運営協議会制度を導入した学校。」を削除しても

よいのではないか。

委員：「学校運営協議会」の解説もあり、わかりやすい。

委員：わかりやすくてよい。

事務局：修正を行う。

(質疑終了 19:46)

## (2)パブリックコメントの募集について ……P8

委員：パブリックコメントの内容説明について、学校教育を取り巻く環境の変化については記載があるが、社会教育については記載されていない。社会教育についても法改正があったので、可能であれば追記してほしい。プラン案に関する意見ではないので、取り扱いは教育委員会にお任せする。

## 2 事務連絡

### (1)第1回委員会議事概要案について

### (2)第3回委員会の開催について

委員長：本日、提案説明を受けた「瑞浪市教育振興基本計画 みずなみ教育プラン・後期計画」(案)について、一部条件付きで、承認とする。教育委員会には基本目標3の施策4について再検討の上、修正していただくこと、用語解説などの修正を行うようお願いする。併せて修正結果を委員あて報告していただきたい。

事務局：議事概要案とともに報告する。

委員長：修正後の案がそのままパブリックコメント案となるのか。

事務局：パブリックコメント募集までの間に教育委員会や市の上部会議などでの審議等がある。随時、見直しを行うので、軽微な修正は加わることを承知おき願う。

委員：異議なし。

(終了 20:04)